

令和4年9月22日

松本市議会議長

芝 山 稔 様

松本市議会議会運営委員会

委員長 上 條 温

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会行政視察をオンラインで実施しましたので、その概要について報告します。

記

1 期 日

令和4年8月22日（月）から23日（火）までの2日間

2 参加者

議長、副議長、議会運営委員10人、事務局随員2人 計14人

3 視察先

- (1) 神奈川県藤沢市議会
- (2) 神奈川県川崎市議会

4 調査項目

- (1) 神奈川県藤沢市議会
 - ア 議会改革について
 - (ア) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
 - a 開催方法、成果及び課題
 - b 今後の方向性
 - (イ) オンライン委員会の開催について
 - a 委員会の開催方法、成果及び課題
 - b 今後の方向性
- (2) 神奈川県川崎市議会
 - ア 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
 - (ア) 指針の内容
 - (イ) 避難訓練の実施状況
 - (ウ) 課題

イ 議会施設の保安・警備について

(ア) 具体的な対応状況

5 概要

(1) 神奈川県藤沢市議会

ア 議会改革について

(ア) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

a 開催方法、成果及び課題

令和 24 年 7 月に「市民の声を聴く会」を開催して以来、「議会報告会・意見交換会」として取り組んできた。しかし参加者が固定化し特定の参加者に発言が集中した、市民と議会との間で対立的なムードが生まれた、市政に対する苦情が多く建設的な議論になりにくかったなどの課題が指摘された。

そこで新たな取り組みとして専門家のアドバイスを受け、広報公聴委員会で協議した結果、①名称やチラシを工夫して親しみやすいものとする。②ワールド・カフェ形式を採用し、和やかな雰囲気で見聞交換を行う。③18 才選挙権を見据えて「投票率の向上」をテーマにすることとして平成 28 年 5 月に第 1 回カフェトークふじさわを開催した。

午前・午後の 2 回行うこととし、高校生以上の若者も対象とし申し込み先着 35 人で行った。参加者と議員が同じテーブルでお茶を飲みながら、大学生の進行により自由に話し合う雰囲気を演出した。

令和元年に開催した第 5 回までの参加者数合計は、498 人（議員・講師・大学生ボランティアを含む）で、1 回（午前・午後計）あたり約 100 人となっている。アンケートの結果、若い世代の参加者が増えた（平均 15%）、女性の参加者が増えた（30～50%）、参加者の満足度がカフェトーク実施前の 28%から 88%に大幅に向上した。

b 今後の方向性

令和 2 年、コロナ禍により対面での開催が出来なくなったことから、Web 会議システム（Zoom）を活用し「Online カフェトークふじさわ」として試行開催した。若年層の意見を聞く目的で、呼びかけに応じていただいた中学生（第 1 部）、高校生（第 2 部）、民間企業（第 3 部）の 3 回開催した。講師は引き続き大学准教授にお願いした。令和 3 年度も同様に行った。

第 1 回カフェトークふじさわ以来、実施後に集約結果と提言をまとめて市長等に提言書を提出するとともに、報告書はホームページや各市民センターで公開している。

今後の課題として、提言を提出した後の結果の検証について広報公聴委員会にて検討することとなっている。

(イ) オンライン委員会の開催について

a 委員会の開催方法、成果及び課題

令和 2 年 6 月、コロナ禍における喫緊の課題として会議のあり方について検討していくことを確認した。Zoom の使用体験、模擬委員会を開催した後、令和 2 年 9 月定例会におい

て、オンライン委員会開催について委員会条例を改正した。以降、広報公聴委員会、議員研修会、視察などオンライン実施を重ねてきた。

令和3年度に入り災害対策特別委員会等3特別委員会において試験的にオンライン委員会を実施してきた。これらの試行を経て問題点を確認し、令和4年2月、オンライン委員会開催要項及び留意事項を承認した。

オンライン委員会の開催形式は次の通り。

パターンⅠ 一部オンライン型

大多数の委員及び市職員等が参集できる。

オンライン出席者のみ会議システムを使う。

パターンⅡ 全オンライン型

大多数の委員及び市職員等が参集できない。

全出席者が会議システムを使う。

オンライン委員会開催手続きは、①委員長はオンライン委員会開催を決定、通知。②オンライン出席を希望する委員は委員長に申請。③委員長はオンライン出席を許可。

開会までの準備として、ミーティングID・パスコードの周知、導通確認、背景画像の徹底、スクリーンネームの統一等が必要。

開会中における対応として、マイクは発言時のみオンとする、発言しようとする市職員の手順の徹底が必要となる。

表決方法は、オンライン出席委員の可否は一人ずつ確認する。

委員会室出席委員の可否は挙手により確認するなど、確実な確認が必要となる。

又、通信環境の不具合が発生した場合は、休憩し復旧を待って会議を再開することなどが必要となる。

b 今後の方向性

オンライン委員会実施後のアンケートにおける主な意見は次の通り。

音量や音質の向上、資料閲覧用と2台の端末が必要、バッテリーの消耗が激しい、バーチャル背景の必要性、会議時間が長くなると通信が重くなりフリーズする、ハウリングの発生、服装等含む規律の確保等。今後これらの課題を一つずつ解決していくことが必要となる。

イ 日時 8月22日(月) 13時30分～15時35分

ウ 対応者 佐賀議長、大矢副議長 和田副市長、竹村広報公聴委員長、清水議会ICT小委員長、議会事務局 藤本事務局長、浅上議事課長、菊池議事課課長補佐

エ 所感

市議会による議会報告会の実施は、藤沢市議会より松本市議会の方が早く始めましたが、発言者が偏りがち、自由な発言がしにくい、雰囲気か堅苦しい、若者・女性の参加が少ない等の課題が指摘されていました。

藤沢市議会でも同様の課題があって検討した結果、平成28年からワールドカフェ方式を採用しました。気軽に話せる雰囲気づくりに配慮した、小グループ化、飲食OK、若者と女性が

参加しやすい仕組みづくりなどをいち早く取り入れていて、本市議会にとって大変参考になるものでした。

藤沢市は松本市の姉妹都市であり、議会も定期的に交流していることもあって、和やかな雰囲気の中で大変有意義な視察ができました。

(2) 神奈川県川崎市議会

ア 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(ア) 指針の内容

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災及び平成 28 年 4 月に発生した熊本地震を契機にして、川崎市内で大規模災害が発生した場合に、迅速かつ的確な活動を行うことを目的として、平成 28 年 11 月川崎市議会大規模災害対応指針を策定した。

議会の基本方針として、市災害対策本部が行う災害対応に最大限の協力を行うこととし、議員は地域の一人として市民の安全確保と応急対応等に当たり、地域における共助の取り組みが円滑に行われるように努める。議員から寄せられた地域の情報は、緊急の場合を除き川崎市議会対策会議を窓口として一本化し市本部に提供する。

災害発生時の対応では、初期対応期（概ね発災当日）、応急期（発災後概ね 3 日経過後まで）、復旧・復興期（発災後概ね 4 日以降）に区分し、市議会の対応を定めている。

発災時に議員の安否及び居所の確認のため、議員のタブレット及び SNS へ安否確認メールを自動発信する、自動発信システムを平成 23 年に導入した。（システムのランニングコストは、110 I D で年間 165,000 円）各議員は情報受信後、電話、FAX、メールを使って返信する。安否確認訓練は夏冬年 2 回実施している。

(イ) 避難訓練の実施状況

直近では令和 3 年 11 月 30 日に避難訓練を実施した。当日は総務委員会をはじめ 3 委員会が開催中で、委員会のない議員は控室に在室していた。10:21 発災直後は、委員会室では机の下に隠れるなど安全確保行動を実施し、地震の続報及び避難経路の確保について報告。10:28 避難先の稲毛公園へ避難を開始、避難先での集合、点呼並びに委員会の閉会。10:28 避難完了報告並びに議長コメント、避難完了。

参加者は市議会議員 60 人、議員控室職員 8 人、議会事務局職員 33 人、守衛 3 人の計 104 人
なお、議場内防災用ヘルメット（折りたたみ式）を導入しているほか、議会用非常備蓄として非常食 120 食、水 2ℓ ペットボトル 60 本、毛布 120 枚を備蓄している。

イ 議会施設の保安・警備について

(ア) 具体的な対応状況

川崎市議会は第 2 庁舎 5 階に正副議長室と議会局、6 階に議員控室、7 階に議場と議員控室、8 階に傍聴席と記者席が配置されている。ここに守衛が 3 人配置されており議会の保安・警備を行っている。

ウ 日時 8 月 23 日（火）10 時～11 時 11 分

エ 対応者 議会事務局 堀江政策調査課長、龍口政策調査課制度・法制担当係長、落合庶務部庶務係長、政策調査課 玉井氏

オ 所感

川崎市は人口 151 万人の大都市であり政令指定都市であるが、本市 議会の視察を快く受け入れてくれたのはありがたかった。

川崎市議会が大規模災害対応指針を策定しているのは、南海トラフ地震の被害が想定されている首都圏の政令指定都市として、当然とはいえさすがだと思いました。

さらに指針策定にとどまらず避難訓練をあえて委員会開催中に設定して実施し、避難所まで実際に避難していること、及び大災害時に議員が帰宅困難となって庁舎宿泊を見込んで非常食、毛布等備蓄していること等、川崎市議会の本気度が伺えて大変参考になりました。

議会施設の保安・警備については、川崎市議会には守衛が 3 人いることに加えて、新庁舎の構造上議会の秩序が守られていると感じました。この問題については、議会秩序の維持と市民との多様な接点の確保との観点から慎重な検討が必要だと感じました。

なお、今回の藤沢市議会及び川崎市議会視察は、当初実際出向いての視察を予定していましたが、コロナ感染症の状況から急遽オンラインにより実施いたしました。

6 報告書（議長、副議長、各委員）

別添のとおり

7 資料

別添のとおり

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視 察 先 及び 視察事項	・ 令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・ 令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

所感

(1) カフェトークふじさわ

藤沢市においても、過去の議会報告会の在り方には様々課題があり、例えば「市民と議会との間で対立的なムードが生まれてしまった。」「市政全般に対する苦情が多く、建設的な議論になりにくかった。」などであり、結果議会報告会そのものの満足度は決して高いものではなかった。こうした事象は、一定規模の都市ではある意味通底する課題と言え、本市においても例外ではない。

そこで藤沢市として取り組んだことは、専門家（法政大学大学院 牧瀬 稔氏）の助言のもと、「カフェトークふじさわ」と称し、いわゆるワールドカフェ形式により、テーマを決めグループディスカッションによる自由な話し合いを行うこととした。ワールドカフェ方式ではメンバーを固定せず、5 回程度あるラウンドにおいて、それぞれテーマについて話し合い、最後にまとめを行う。この方式による参加者の満足度はとても高いようだ。また、高じて市の課題をテーマとして話し合った結果、陳情に至った例もあるという。参加者は若者や女性が多く、カフェトーク導入前の同参加者を大きく上回っ

ている。

これらから、この取り組みの優位性がうかがえる。本市としても、交流部会においてワールドカフェ方式を導入による取り組みが検討されているが、結果が楽しみなところである。

一方、コロナ禍において対面での話し合いが制限される中、「オンラインカフェトークふじさわ」が開催された。小学生、中学生、高校生、大学生が相まって同じテーマ（環境・公園）で開催され、年齢的にこうした会議への参加自体が難しいと思われていた小学生の本音が聞けるなど素晴らしい成果があったという。オンラインでの会議は本市においても大分習熟してきており、こうした取り組みは対面、オンライン問わず、今後チャレンジしてみたいものだ。

さて、議会と市民が話し合った結果についてであるが、市民への公開と併せて、市長をはじめ関係行政機関へ提言として提出されているとのこと。こうした市民が参加した証と、その成果が明らかとなれば、さらに市民参加が進むものと考えられる。時代とともに方法論等は変わっていくのだろうが、現時点においては非常に参考となる藤沢市の取り組みである。

（２）オンライン委員会

オンライン委員会については既に本市においても導入され、正式な委員会開催はしていないものの、いつでも実施できる環境にある。藤沢市議会の取組み中参考となるものは次のとおり。

- ・対面委員会では、声の大きい議員の意見に引っ張られがちとなるが、オンライン委員会においてはそのような状況とはならず、それぞれの議員の意見をよく聞くことができる。

- ・予算委員会など分量の多い会議では、機械が過負荷となり不具合が生じるため、顔出しの人数、マイクの数、バーチャル背景などに配慮が必要

- ・採決時の意思表示はタブレット等のフリーズも考えられるため、委員長が一人ずつ意思を再確認している。

- ・通信環境に不具合が発生した場合委員長は、復旧を待って会議を再開、あるいは会議に諮って議事を進めるかどうか決める。

- ・委員長は秩序保持に関する処置として、回線の遮断により映像と音声の送受信を停止する措置を講じることができる。

これらを参考として本市においてもオンライン会議開催時の万全を期したい。

２ 神奈川県川崎市議会

所感

（１）市議会大規模災害対応指針及び避難訓練

本市には松本市議会災害対策本部設置規定があり、議長（本部長）、副議長（副本部長）、本部員（各会派代表、議運委員長、常任委員長）、および議員、事務局の役割を定めており、災害時対応の基本は定まっている。

そのうえで、参考となるものを次に記す。

・資料２にあるとおり、大規模災害発生時の議会の体制について、初動期、応急期、復興・復旧期に分け、一覧でビジュアルにまとめた資料はわかりやすい。こうした資料を作成し、防災訓練時などでの読み返しや復習を行うことで、一層の態勢の理解促進に役立つものとする。

・避難訓練については、委員会開催中に発災したことを想定しての、議事中断の流れ、議員・傍聴者の誘導案内、安否確認、一時避難場所への避難等、市議会全体での初動対応を確認することの意味は大きく、本市においても実施を検討すべきと考える。

・本市でも防災用ヘルメットが議場に設置されているが、実際使用したことはない。こうした備品の活用方法、また、ＡＥＤなど非常時に必要な救命機器などについても訓練を検討すべきと考える。

（２） 議会施設の保安警備

本市においては傍聴人の不規則発言などにより、傍聴人を退場させることがしばしばあるが、川崎市においても同様のようである。

本市においては、議会に強い権限を持たせ警備員の配置によって傍聴人等を強制的に退出させることが必要との意見もあるが、現時点では議長の取り回しで対応ができているものと思われる。

一方、議会施設におけるセキュリティの確保について川崎市議会では、防犯カメラの設置、警備員等の配置（議会棟各階）がされ、議会施設へは勝手に入れないシステムとなっている。

本市においては、議会施設でのセキュリティは無いに等しい。議員控室、廊下、応接、延いては正副議長室まで勝手に入られてしまう状態である。

議員の安全確保はもとより、自由な討論の保障という観点でもセキュリティは絶対に確保されなければならない。早急に検討すべき課題である。

令和４年９月２日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

松本市議会議長 芝 山 稔

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察		令和4年8月22日(月)～23日(火)
視察先 及び 視察事項	・令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		1 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

【コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について】

ふじさわ市議会では平成25年4月1日議会基本条例を施行。「開かれた議会」、「市民に親しまれる身近な議会」を目指す。

条例に基づき、広報広聴委員会を設置した。

これまでの議会報告・意見交換会をさらに発展させることを協議し、平成28年5月第1回カフェトークふじさわを開催。

開催方法は参加者がテーブルを固定せず、各テーブルをラウンドするワールドカフェ方式。市民同士の話し合いを中心に議員も一緒に加わる。ファシリテーターは牧瀬実氏。気楽に思っていることを言いっぱなしにする。相手の意見を否定しない。できるだけすべての人に発言してもらう。5回目まで開催したところで、コロナ感染拡大の影響でリアルでの交流ができなくなった。

そこで、オンラインに切り替えて「on-line カフェトークふじさわ」を令和2年11月～令和3年11月の2回開催された。どちらも、小学生、中学生、高校生の参加を呼び

掛け、テーマを決めて開催。画期的な意見・要望が出されたそう。

カフェトーク終了後意見集約をし、所管別にまとめ、教育委員会や、市長に提言書を提出している。提言を提出した後の検証が課題として挙げられている。

視察の感想

平成28年から、継続して市民との意見交換の場が設けられてきていることは評価できる。また、コロナ禍に入ると、オンラインによるカフェトークふじさわを展開し、迅速な対応で市民との距離を大切に保ってきています。当議会は、ステップアップ市民会議からの提言について若者の政治参加について具現化を図って丁寧に取り組を進めてきたが、議会報告会や市民交流の在り方においては、高校生との意見交換は継続されているが、議会報告会の在り方、実施については課題があるといえるのではないかと。

今後計画されている町会連合会とのワールドカフェ方式の意見交換会の開催が待たれるところだ。「ワールドカフェふじさわ」の視察は、とても有意義なものとなった。

【オンライン委員会の開催について】

趣旨

オンライン委員会は、コロナ禍における喫緊の課題への対応として、会議の在り方を検討。

大規模な災害等の発生等により、委員会への参集が困難であるなど、非常時においてオンライン委員会を開催できるよう委員会条例を改正

全ての委員会が対象で市職員もオンラインによる出席を認める。

令和2年の6月から検討を開始し、オンラインによる模擬委員会など令和3年度まで検討、試行実施が重ねられました。令和4年2月10日にオンライン開催要綱および留意事項が議会運営委員会で承認。

オンライン委員会の開催形式は、

大多数の委員及び市職員等が招集場所に参集できる一部オンライン型と、大多数の委員及び市職員等が招集場所に参集できない全オンライン型。令和4年2月から令和4年現在まで両形式で会議が開催されていました。

また、開催における手続き、開会までの準備、開催中の対応、表決方法、通信の不具合が発生した場合の対応、服務規律・秩序保持の留意事項が細かく決められていました。

オンライン委員会の開催についての感想

オンラインでの開催では、予期せぬ事案が発生した場合の対応について、万々に備え、十分に検討する必要がある。特に、災害発生時は、電波状況がどうなのか、そもそもオンライン会議事態開催ができない可能性すらある。藤沢市では、鋭意検討が重ねられ、丁寧な取り組みがされてきた経過については事務局、議員が根気よく頑張ったと感服しました。

2 神奈川県川崎市議会

【市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について】

川崎市議会災害対策会議設置要綱に基づき定期的に避難訓練が実施されていることについて説明いただく。

川崎市議会では、市内で大規模な災害が発生した場合に、迅速かつ的確な活動を行うことにより、市民の安全確保及び災害の復旧に寄与するため、川崎市議会及び市議会議員の基本的な対応について、共通の認識を持ち、議会としての体制を整備することを目的とした、川崎市議会大規模災害対応指針が設けられていました。

対象とする災害は

- ・市本部が設置される、大規模災害
- ・そのほか議長が本指針の適応を必要と認める災害

ア、初期対応期（概ね発災当日）

イ、議員退庁後及び会議（本会議）・委員会）閉会中以外の対応

ウ、応急期（発災後概ね3日経過後まで）

エ、復旧・復興期（発災後概ね4日ご以降）

オ、災害発生時の連絡体制・情報伝達

カ、その他

上記項目ごと、行動指針が明記されています。

災害時の通信手段については、災害時の通信回線の途絶や規制等により固定電話、携帯電話の通話機能の使用が難しくなった時には、議員及び議会（災害対策会議）の情報収受にメールを活用することや、発災から一定期間が経過し通信手段が復旧してきた段階においてはファクシミリの活用、議員との連絡体制はタブレット、及び SNS の活用を検討するなど ICT を積極的に活用することが盛り込まれていました。

川崎市議会では、定期的に避難訓練も実施されていました。

視察の感想

本会議中の大規模災害を想定しての避難訓練は評価できると思います。とかく、会議等、閉会中の災害を想定している感が否めず、市役所から帰宅できないケースも含めて対応を考えておく必要があると思います。

松本市議会では、本会議場のヘルメット整備がされているので、避難訓練の実施ができればと思いました。

また、情報の共有、通信等、重要なことであるので、市議会として、また個人としても確認し、対応できるよう準備が必要だと思いました。

【議会施設の保安・警備について】

川崎市でも警備員を配置していること。

防犯カメラの設置もあること。

新庁舎建設に伴い、防犯カメラの設置も含め、市民が無断で立ち入ることが無いよう、議会棟のセキュリティーの強化を図る対応があること。

これらについて説明いただく。

警備員の配置はあるが、傍聴人の暴言、違反行為については、地方自治法の定めるところにより注意して対応しているとのこと。基本的に、議会は、強く規制し拘束することはできないため、こうした決まりの中で最大限対応を図ることとしている。

感想

松本市議会では、議員が度々市民から暴言や恫喝を受けるなど事象が発生している。

今のところ事件には至っていないので、何とか収まっているが、セキュリティー強化は松本市庁舎において喫緊の課題である。

終わりに、

現在、松本市役所新庁舎建設計画が凍結状態になっていることは、市民の生命、財産を守るうえで、非常に残念なことといえます。

新庁舎建設計画の早期開始で、一日も早く足元を固めないことには、今後起こるであろう大規模災害時、松本市庁舎がどこよりも先に被害に巻き込まれるのではないかと危惧するところです。

令和4年 8月 26日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

松本市議会副議長 上 條 美智子

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先
及び
視察事項

・令和4年8月22日(月)

神奈川県藤沢市議会

1 議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

ア 開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

・令和4年8月23日(火)

神奈川県川崎市議会

1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(1) 指針の内容

(2) 避難訓練の実施状況

(3) 課題

2 議会施設の保安・警備について

(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

(1) カフェトークふじさわ

議会報告をやめ意見交換会のみにした。松本市議会でも可能であれば、それよいと思われる。

小中学生や高校生とも意見交換をするのは、これからの本市議会においても取り入れるべきことだと感じる。またそこに、ファシリテーターとして大学生に担っていただくのも良い方法と思いました。

実施後、意見交換をした内容を提言にまとめ、市長等に提言書として提出していることも、本市議会の今後の手本になると感じた。また、当日のアンケートを集計・分析し、報告書として作成。それをホームページ等で公開していることも参考になった。

本市議会として、次回の議会報告会をワールドカフェ方式で実施することにはしたが、今後の方向性を検討する必要があると思う。

(2) オンライン委員会

今年、2 特別委員会・5 常任委員会および予算特別委員会をオンラインで実施した内容をお聞きした。

請願等の提出者の参加方法、表決方法、また通信環境等の不具合が発生した場合の対応等、説明を受けた。

通常の委員会（対面式）よりは時間を要するなど課題はあるものの、非常時における会議の開催時には、欠かせないものと感じた。

今回の藤沢市の視察は、大変に良かった。

2 神奈川県川崎市議会

(1) 大規模災害対応指針・避難訓練

川崎市は全国 12 番目に「大規模災害対応指針」を策定した。本市議会においても、川崎市など先進自治体の策定指針を参考に早期に策定すべきと考える。

本市も、災害時の安否確認訓練を実施しているが、川崎市が導入している震度 6 弱以上で、自動でメールが発信されるシステムは、参考になる。

川崎市議会が昨年度実施した避難訓練の説明を受けた。参加人員 104 名で、常任委員会中を想定したもので、本市議会でも定期的の実施した方がよいと感じた。

(2) 議会施設の保安・警備

新庁舎が建設され、22 階から 24 階が議会フロアになっており、セキュリティ圏に。防犯カメラも、必要箇所に設置されている。旧庁舎時代も議会棟において、各階に警備員を配置するとともに、防犯カメラも設置し、セキュリティ対策を実施していた。

本市は、自由に一般の方が議会フロアに出入りできる状態にある。新庁舎においては、セキュリティ対策がしっかりと行われるものが必要と考える。

令和 4 年 8 月 29 日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 勝野智行

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先
及び
視察事項

・令和4年8月22日(月)

神奈川県藤沢市議会

1 議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

ア 開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

・令和4年8月23日(火)

神奈川県川崎市議会

1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(1) 指針の内容

(2) 避難訓練の実施状況

(3) 課題

2 議会施設の保安・警備について

(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

(1) 議会改革について

小学生や中学生が参加するのは良い事ですが、事前学習がどのように行われているのか、自分たちの意思なのか気になりました。

主権者教育の主権者とは何なのか、法律や条例がどのように決められ知らされるのか等、基本的な仕組みを教えていかないとワールドカフェ方式という良い試みを行っても意味が半減してしまう。

議会報告に興味を持ってもらうには学校の授業改革のように面白いものにしていく事が重要である。

議会報告会を行っても市民が知らない、つまらないと思われては意味がないので一緒に取り組める災害のゲームのようなものを取り入れてはどうかと思う。

同じ人とじっくり話し合う事もいい事だが、ワールドカフェ方式で様々な人と話し合えるのは一つの魅力ではないかと実感した。

オンライン会議では意見交換の中で情報収集や開催した実績はできるが、個々を重んじるようで本来の趣旨である交流とはかけ離れてしまっていくようなことでは

ないかと思う。

このオンラインを進めるのは災害時という前提で考えないとなし崩し的に日常までオンラインになりコロナ禍が終わっても交流という基本的な軸が見えなくなってしまう。試験的にオンラインを実行するのは良いが議会報告会のような議会活動をオンラインにするのは如何なものかと思う。

「市民の話を聞くことはできる」という前提で共通認識できるなら時代の流れで進んでも良いかと思う。

(2) オンライン委員会の開催について

オンラインについては課題がまだまだ多そうだという実感
災害等でオンライン開催にしてもオンラインにまでこぎつけるのか。

i p a dを持っている事を前提に進めているが災害の時に本当にできるのかは疑問

平常時によくよく試験的に行っていないと非常時にオンライン委員会など開催できないと思うので平常時に課題等を確認、改善や対応策を議会としてしっかり考えていかなくてはいけない。

2 神奈川県川崎市議会

(1) 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

災害時に議会として何ができるのか精査する必要があるのと同時に、組織としての連絡網の確立を徹底していく必要がある

本格的に災害時の指針を立てる必要がある。

本会議場で訓練を行う必要があるが体制整備の議論があってからの避難訓練にすると効果があるように思う。定例会で年1回避難訓練は実践する必要があるのではないかと思う。

指針を作るのは良いがもう少し視察を重ねて実践的にしないといけない。

災害というのは災害時だけを想定しているが平常時の対応も考えないといけない。

新庁舎ではヘルメットの保管場所を多数にする必要がある。

(2) 議会施設の保安・警備について

新庁舎移行では、議会人の安全な活動ができるように期待をします。

そのためには防犯カメラというのは効果があると思います。

例えば警備をお願いしても権限がないのでどこまでできるのか不安。

令和4年9月20日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 若林 真一

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先
及び
視察事項

・令和4年8月22日(月)

神奈川県藤沢市議会

1 議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

ア 開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

・令和4年8月23日(火)

神奈川県川崎市議会

1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(1) 指針の内容

(2) 避難訓練の実施状況

(3) 課題

2 議会施設の保安・警備について

(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトーク藤沢の開催について

ア 開催方法、成果課題

・コロナ禍により対面での開催ができなくなったことにより、令和2年度よりオンライン形式で開催。令和3年度は2部形式で行い第一部は「環境」、第2部は「公園」をテーマとして話し合いを行う。どこからでも参加でき、会派を超えた活動となり、子ども等とのかかわりができる。課題として開催方法、テーマ設定、会場の設定、募集方法、継続性など

イ 今後の方向性

・オンライン方式の検証を踏まえ、これまでの実績を考慮し、大学等の連携、協働による検討を進める。

(2) オンライン委員会の開催について

委員会の開催方法、成果及び課題

・手続きとして、委員長の判断によりオンライン委員会の開催を決定、または委員会からの意見により決定し、オンライン出席を希望する委員は委員長に申請、委員長はオンライン出席を許可、委員会への出席を求められた職員や参考人等も同様。開催中マイクは発言時のみオン。評決は1人ずつ確認、委員会室出席委員の可否を挙手により確認、全委員の可否を合算して多少を認定。音量や音質の向上、バッテリーの消費が激しく時間が経過するとフリーズするなどが課題

2 神奈川県川崎市議会

1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(1) 指針の内容

目的 大規模な災害が発生した場合、市民の安全の確保及び災害の復旧に寄与するため、基本的な対応について共通の認識を持ち議会としての体制を整備すること

基本方針 災害の状況に応じ、必要な体制を取りながら市災害対策本部及び区対策本部が行う災害対応に最大限の協力を行う。

対象とする災害 大規模災害、本方針の運用を必要と認める災害

その他 市地域防災計画等と常に整合を図る

(2) 避難訓練の実施状況

目的 委員会開会中に大規模地震が発生した際、委員長主導により疑似中断対応の流れや職員による議員及び傍聴者等の誘導案内、避難等の流れの確認、控え室からの避難や災害等緊急時連絡システムを活用した安否確認の訓練及び一時避難場所への避難を行い、初期対応能力の向上

2 議会施設の保安・警備について

(1) 具体的な対応状況

議員に面会を希望する場合は事務局を通すこと、警備員を配置、傍聴を希望する場合は警備員室にて申請。傍聴に関して必要な事項を定めた市議会傍聴規則により運用。

令和4年9月20日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 川久保 文良

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先 及び 視察事項	・令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

(1) カフェトーク藤沢について

ア これまでの課題

- ・参加者の年齢層が偏り、若い方の参加が少なかった
- ・参加者が固定化してしまい、人数が減少傾向となった
- ・市民と議会との間で、対立的なムードが生まれてきた
- ・アンケートから参加者の満足度が低かった

イ 開催方法等

- ・専門家のアドバイスを受けて広報広聴委員会で協議
- ・これまでの議会報告会・意見交換会をさらに発展させ新たに実施
- ・ワールド・カフェ形式を採用し和やかな雰囲気意見交換を行なった

ウ 成果及び課題

- ・若い世代の参加者が増え、幅広い年齢層の参加により実施できた
- ・女性の参加者が増えた（今までは23%→30～50%）
- ・満足と少し満足の合計が増えた（今までは28%→88%）

エ 実施後の取り組み

- ・投票率の向上については集約結果と提言をまとめ、教育長、選挙管理委員会委員長、市長に提言書を提出
- ・藤沢の知名度向上・藤沢の誇り等・藤沢のマニフェストを作ろう・については集約結果と提言をまとめ、市長に提言書を提出

オ 今後の方向性（課題）

- ・ワールド・カフェ方式・オンライン式・対面式を検討
- ・興味を持ってもらうことや、活発な論議ができるような工夫
- ・テーマ別に対象を絞って周知するよう検討
- ・将来に向けて議会報告会の方向性の研究
- ・提言書を提出した後の検証

カ 所管

- ・藤沢市は姉妹都市でもあり、交換会も定期的に実施しているので、和やかな雰囲気の中、お互いの悩み等も活発に議論ができた。
- ・オンラインではあったが有意義な行政視察であった。

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の趣旨

- ・コロナ禍における喫緊の課題の対応として会議の在り方を検討
- ・大規模な災害等の発生等により、委員会への参集が困難等非常時においてオンライン委員会を開催できるよう委員会条例を改正
- ・全ての委員が対象
- ・市職員もオンラインによる出席を認める等

イ 検討経過

- ・議会運営委員会で令和2年6月より検討、同年9月定例会本会議に於いて10月9日オンライン委員会開催についての委員会条例を改正した
- ・その後議会ICT小委員会で開催要綱（案）の確認、特別委員会の試行実施等を経て、令和4年2月オンライン委員会開催要綱及び留意事項を承認した

ウ 成果・課題・今後の方向性

- ・開催における手続き、開会までの準備、開催における対応、表決の方法、通信環境等の不具合が発生した場合や服務規律等多くの準備や心構え、対応などきめ細かな事前準備が必要である

エ 所感

- ・音量や音質、資料閲覧用と2台の端末、バッテリーの消耗、会議時間が長くなると通信が重くなりフリーズする等先程の課題でもふれたが細部の計画対応が必要と感じた。

2 神奈川県川崎市議会

(1) 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

ア 指針の内容

- ・ 議会は、災害の状況に応じ必要な体制を取りながら、川崎市災害対策本部及び区災害対策本部が行う災害対応に最大限の協力を行う
- ・ 議員は地域の一員として市民の安全と応急対応等にあたり地域における共助の取組みが円滑におこなわれるよう努める
- ・ 議員から寄せられた地域の情報は緊急の場合を除き当市議会災害対策会議が設置された場合はそこを窓口として市災害対策本部に提供する等

イ 災害発生時の対応

- ・ 本会議・委員会開会中の対応
- ・ 議員退庁後及び本会議や委員会開会中以外の対応
- ・ 災害発生時の連絡体制・情報伝達等

ウ 避難訓練の実施状況

- ・ 常任委員会の開会中に大規模地震が突発的に発生した際に対する避難訓練を実施し、委員長主導による議会中断対応の流れや、職員による議員及び傍聴者の誘導案内、避難等の流れを確認するとともに、控え室からの避難や災害等緊急時連絡システムを活用した安否確認等の訓練及び一時避難場所への避難を行い市議会全体での初動対応の向上のため実施した

エ 課題

- ・ 議員が集まっている（本会議・委員会等）時は指針に沿って対応できるが、個々に活動している時の対応や参集、安否確認等は時間が要したり対応について難しさがあると感じる

(2) 議会施設の保安・警備について

ア 具体的な対応状況

- ・ （警備体制）24時間で開庁時2名、閉庁時1名で入退庁者の監視及び案内
- ・ （緊急時の対応）不審者や暴力を振るう恐れのある者を発見し又その通報を負けたときは直ちに現場に赴きその状況を契約管財課長に報告し排除の要請を受けたときは毅然とした態度で対応する
- ・ 会議室等の鍵の管理
- ・ 本庁舎・東庁舎及び敷地内の巡回（8/日）
- ・ 不審者、不審物及び不審車両の発見、適正処理
- ・ 火災予防上の下記点検等

※現在新庁舎を建設中のようで完成時には防犯カメラを設置する旨の説明がありました

イ 所感

詳細に対応が定められていると感じた。

今検討中の新庁舎には、防犯カメラの設置が計画され当然の措置と考えるが、本市においては真逆の対応に考えさせられる。

令和4年9月5日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 村上幸雄

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視 察 先 及び 視察事項	・ 令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・ 令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会 議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

ア 開催方法、成果及び課題

対面式5回(平成28年から令和元年まで)、午前午後、参加者はそれぞれ99人から121人。ワールドカフェ方式、高校生以上参加。若者や女性の参加が向上、満足度は28%から88%にぐんとアップ。オンラインカフェトーク藤沢は2回開催。小学生以上、企業や関東学院大の協力で開催。テーマを決めている。課題は手法・テーマ・募集・継続性など。

イ 今後の方向性

広報公聴委員会で今後の方向性を検討。令和4年度は対面でワールドカフェ方式、午前は「スポーツ」、午後は「市民会館・ソフト面について」、中学生以上が対象。中学は校長会通じて呼びかけ、高校はこれまでに実績のある2校に依頼

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の開催方法、成果及び課題

全オンライン型と一部オンライン型で開催、希望者が申請し、許可をもらう。

課題は様々明らかとなる。バッテリー消耗が激しい事や申請の必要性、評決に時間がかかるなどいくつかの課題が明らかになる。

イ 今後の方向性

議運の「ICT 小委員会」にて結果を確認・報告した。今後の方向について特に変更点はない。9 月議会は濃厚接触者があり、その方のみオンラインで入ってもらう。

2 神奈川県川崎市議会

(1) 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

ア 指針の内容

主な点は、議員の対応として、緊急のもの以外はメールなどで災害対策本部に連絡することや、地域の一員として活動する事が示される。

イ 避難訓練の実施状況

令和元年度9月に本会議中の避難訓練を実施。令和3年度11月に委員会開催時に実施、安全確保行動、情報共有、被害状況集約、方針検討、公園への避難

ウ 課題

(2) 議会施設の保安・警備について

ア 具体的な対応状況

議会傍聴では、異様な服装や威圧的な行動を行なうものへの入場制限がある。

令和4年10月18日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 犬飼 明美

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先 及び 視察事項	・ 令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・ 令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		1 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市

海と山の姉妹都市交流が61年目となりました。(昭和36年提携)これまでに市民による交換会や議会交流も盛んにおこなわれてきましたが、コロナの影響で相互訪問ができないことは残念な思いであります。

カフェトークふじさわの開催について

これまでに平成24年7月「市民の声を聞く会」25年4月「議会報告会・意見交換会」同年10・11月「議会報告会・意見交換会」26年11月「議会報告会・意見交換会」を開催してきた。結果「若い方の参加者が少ない・参加者の固定・特定の参加者に発言が集中・議会との対立ムード・市政全般への要望が多く建設的でない・テーマ設定等の進め方に課題があった・アンケート結果の満足度が低い」

行政・議会への否定的な意見が特定な人から出されて、参加者同士の対立もあっていい雰囲気ではなかった。

このことから、専門家のアドバイスを受けて広報公聴委員会で協議し、発展した形で新たに実施。

「名称やチラシの工夫で親しみやすく・和やかな雰囲気で意見交換が行えるようワールド・カフェ形式にした。18歳選挙権を見据えて投票率向上をテーマにした。」（※ワールド・カフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、小グループをつくりメンバーを変えながら話し合う手法）

第1回カフェトークふじさわ（平成28年5月午前午後の二部制）

～みんなが主役、投票率アップ大作戦～

高校生以上の若い方対象・テーマは投票率の向上・専門のファシリテーターを招き各テーブルの進行役は大学生に担ってもらう。（※ファシリテーターとは、有意義な会議となるよう議題や参加者、事前説明や資料準備、意見が出しやすいような雰囲気づくりや対立するときは客観的に双方のバランスを配慮し、話の流れをまとめる人）

飲み物やお菓子をテーブルに置きカフェの雰囲気を作った。気楽に意見を出せるよう努めた。4ステージ制「1なぜ投票に行かないのか20分・2投票率が向上することによるメリットデメリット20分・3自分と議員あるいは市政との関りはどこか20分・4投票率を上げるには・5まとめ・発表」

意見交換をした後テーブルごとにまとめを発表、最後にファシリテーターの法政大学院講師、牧瀬教授が講評を発表。（計99名参加）

第2回カフェトークふじさわ（平成28年11月午前午後の二部制）

～みんなが主役、投票率アップ大作戦～

会場の飾りつけを工夫・4ステージを3ステージに変更まとめの時間を増やす。（計78名参加）

第3回カフェトークふじさわ（平成30年1月午前午後二部制）

～藤沢の知名度アップ大作戦～

テーマを藤沢のチャンスと課題についてとした。本庁舎が完成したので議会フロアで開催、参加者の共通理解を図るため基調講演を実施（計82名参加）

第4回カフェトークふじさわ（平成30年12月午前午後の二部制）

～藤沢の誇り、愛着度アップ～（シビックプライドランキングについての議論を深めるため）

議論時間が足りないため開催時間を延長した。（※シビックプライドとは市民の持つほこり・愛着）（計118名参加）

第5回カフェトークふじさわ（令和元年11月午前午後の二部制）

～私が市長大作戦～

テーマは、ふじさわのマニフェストをつくろう。より幅広いテーマでの意見交換が目的。対象者を高校生以上から中学生以上に拡大。（計121名参加）

アンケート結果第1回～5回

参加者の年齢層

若い世代の参加者が増えて10～20代が平均15%。カフェトーク前の2%から大きく向上した。

性別

女性の参加者が30～50%。カフェトーク前の23%から向上

満足度

第5回においては満足と少し満足の合計が88%。カフェトーク前の28%から大きく向上。

令和2年からオンライン形式の導入（ZOOM使用）

Online カフェトークふじさわ（令和2年11月（日）第1部中学生・第2部高校生・第3部民間企業の三回実施）講師 牧瀬 稔氏

第1・2部でのテーマは、コロナ禍での困りごと・ウイズコロナ時代の未来予想図・藤沢市役所・議会に期待するものは・期待することを踏まえて市民ができることは何か。

オンラインのメリットは、参加者はどこにいても参加できる。

中学生がしっかりと自分の意見を持ち発言していることにびっくり。これを受けてそれでは小学生はどうだろうという意見が出た。

第3部では、テーマにコロナ禍における行政運営の課題・企業活動の変化・公民連携の可能性を探る

Online カフェトークふじさわ（令和3年11月（日））企画立案から牧瀬ゼミ生が関わる・対象を小学生にまで拡大・zoom ホワイトボードを使用。

第1部 中学生 高校生 大学生

第2部 小学生 中学生

第1部では、環境をテーマに、第2部では、公園をテーマに何が問題か課題は何かについて、望ましい環境と公園（あるべき環境・公園の姿）。具体的に何をすればいいかを考察。

第1回目から第5回まで（投票率の向上について・藤沢の知名度向上について・藤沢の誇り、愛着度アップについて・ふじさわのマニフェストをつくろう）集約と提言をまとめ市長に提出。

online カフェトーク令和2年・令和3年についても集約結果と提言を市長に提出。

カフェトークふじさわのアンケート・出された意見・配布資料などをまとめて報告書を作成。

ホームページで公開。

（2）オンライン委員会の開催について

タブレットは2018年導入、コロナで個人的なオンライン飲み会などをしたことも

あった。

令和2年、コロナ禍の会議の在り方を検討・大規模災害等出席が困難な場合に備えて委員会条例を改正・すべての委員会が対象・市職員もオンライン出席を認める。

令和2年10月よりオンライン会議を開催。全オンライン、一部オンラインも施行実施。令和4年予算特別委員会では、濃厚接触者があり一部オンラインで開催。

オンライン委員会の開催は、委員長の判断による。オンライン出席を希望する者は委員長に申し出て許可を得る。

実施にあたって、ミーティングID・パスコードの周知・入室後、導通確認・委員は職員と区別するためにバーチャル背景画像を使用。

スクリーンネームの統一「委員・職名・漢字氏名。市側・所属名等・その他参加者・漢字指名」

マイクは発声時のみオン・「職員は委員長の確認後指示に従う・画面は委員が優先、職員は発言する者のみが表示される」

発言は挙手、指名された後に発言する（所属・役職は二回目以降省略し、姓のみとする。オンライン出席委員の可否を一人ずつ確認する。委員会室出席全委員の可否を挙手により確認。全委員の可否を合算して多少を認定。

令和4年3月オンライン委員会実施後アンケート結果を確認。「バッテリーの消耗が激しい・音量や音質の向上・資料閲覧用のタブレットが必要・バーチャル背景は重くなる・長時間の会議になるとフリーズする

2 神奈川県川崎市議会

相手方の挨拶で、かつ玄・縄手通りのカエル・かつ玄麓庵・浅間温泉・おやき・大信州などの名前が飛び出し雰囲気が和んだ。

市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

平成28年11月川崎市災害対策会議設置要綱が施行された。内容については松本市議会のものと同等であると感じる。

23. 3東日本28・4熊本の地震災害を受けて指針の策定に至った。

平成28、4月、自民党の発案により団長会議を開催。5人以上の議員が所属する交渉会派4つから選出の8名でプロジェクトチームを組織6月～10月にかけて計5回の会議を開催。指針案策定。政令市では20番目。

市内で大規模災害が起こった場合の迅速的確な活動を行えるよう基本的な対応について、共通認識と議会体制の整備を目的に作成。「基本方針・対象とする災害・災害発生時の対応・発生時の連絡体制と情報伝達（災害初期、応急期）」災害発生時の対応には、「会議開会中の対応・議員の退庁後及び開会中以外の対応」。

災害時の情報伝達には「防災連絡メールシステム」を使い、議員は安否・居場所を返

信。災害対策会議への情報伝達には「議会事務局への電話・ファックス・メール」を使用。（市議会対策会議は、正副議長、正副議運長、会派代表で構成）

避難訓練については、平成２８年に設置した「川崎市大規模災害対応指針」にもとづき２９年から３１年度にかけて本会議場からの避難訓練を実施。令和２年度は委員会室からの避難訓練を行い、同様に令和３年１１月に各階の委員会室からの避難訓練を実施（議員６０名と職員等で１０４名が実施）。避難先 稲毛公園。避難先で点呼を取り委員会を閉会。

安否確認は、訓練時に登庁していない２３名の議員から正午までに返信メール等で安否を確認。

平成２９年、議場内に防災ヘルメットを導入。「議員・理事者・傍聴者で１９０個」非常食議員６０名「アルファ米２食分、２Ｌ保存水６０本、難燃性毛布１２０枚、」備蓄。

議会施設の保安・警備について

議会棟に守衛を配置。議場では、本会議開会時に議場に一人傍聴席に一人配置。

議会開会時には敵意に巡回。

過去には幾度も傍聴人の退場を命じている。質問が聞こえないほどの大声の傍聴者もある。守衛の配置や地方自治法、傍聴に関する規則等に基づき指導に留まっていて強い権限で退場を促す策は用いていない。

新しい庁舎では２２・２３・２４階が議会フロアになる。セキュリティゾーンになって外部からの人は勝手には入れないことになる。議員控室などに行く場合には守衛または議会事務局に届け出てからになる。

防犯カメラは必要数設置予定。（現庁舎には防犯カメラ設置してあるが総数は把握していない）

令和４年 ９月 ７日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 柿澤 潔

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先
及び
視察事項

・令和4年8月22日(月)

神奈川県藤沢市議会

1 議会改革について

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について

ア 開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

(2) オンライン委員会の開催について

ア 委員会の開催方法、成果及び課題

イ 今後の方向性

・令和4年8月23日(火)

神奈川県川崎市議会

1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について

(1) 指針の内容

(2) 避難訓練の実施状況

(3) 課題

2 議会施設の保安・警備について

(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

大学の教授を中心に、課題を決めて「カフェトークふじさわ」を開催する事で、議員が市民とふれあう機会を作り、課題トークの中から問題点を見つける利点がある。

今後は、議会中心での進行をどうするかが課題。

オンラインは、使い勝手は周知できたが、ネット環境の不安定時の本人確認と採決方法に課題がある。

考察

市民と議会の在り方として、藤沢市の当初の議論のぶつかり合いが本来の在り方なのか、課題提供での議論が良いのかを考えた時、イデオロギーの違う中から議員が選挙され、党や会派で議会構成がなされ、賛否拮抗の議会で、諸懸案が民主主義的方向性を見出す事が議会ではないのかと思う。

従って、各党や会派、個人後援会で行政課題等を議論すれば、イデオロギーでの方向性が深まり、更に緊迫した議会議論に繋がり、さらに深堀すべきは、視察や研究講演会への参加で知識を醸成して、イデオロギーに磨きを掛ければ更なる議会の活性化に繋がり、更なる議会改革になると思う。

ぶつかり合いがほぼない課題討論は、知識醸成の教養学習会になり、研究者の領分のような気がする。

2 神奈川県川崎市議会

訓練の重要性が再認識出来た。

保安警備についての重要性が、国、県、市、町村で認識に違いがあるように感じる。

考察

訓練によって守るべきものが更に見えてくるのだと思う。

実戦さながらの訓練によって、問題点の洗い出しが、その都度出来るようになることが必要であると思うが、そうそう時間が取れない中行う難しさがあると思う。

保安警備については、行政の懸案事項に、市民の関心の高まりのある時は、危機感が感じられると思うが、そうでない時は危機感は少ないと思われるが、十人十色と云われる通り、個人問題も含め、市民に様々な関心事がある以上、入室というか、議会棟への出入りについては、十分な対応が必要だと思う。

令和4年8月28日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 太田 更三

行政視察報告書

議会運営委員会行政視察

令和4年8月22日(月)～23日(火)

視察先 及び 視察事項	・令和4年8月22日(月)	
	神奈川県藤沢市議会	1 議会改革について
		(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催について
		ア 開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
		(2) オンライン委員会の開催について
		ア 委員会の開催方法、成果及び課題
		イ 今後の方向性
	・令和4年8月23日(火)	
	神奈川県川崎市議会	1 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練について
		(1) 指針の内容
		(2) 避難訓練の実施状況
		(3) 課題
		2 議会施設の保安・警備について
		(1) 具体的な対応状況

1 神奈川県藤沢市議会

(1) コロナ禍におけるカフェトークふじさわの開催

コロナ禍のため対面での開催ができなくなり Web 会議システム (Zoom) を使用して開催されている。交流対象の年齢層を定め、話しやすい雰囲気を作り、楽しい時間を過ごしているように感ずる。若い世代の皆さんのざっくばらんな思いが聞けていることが成果と思う。毎回参加者の意見をまとめ市長に提言していることは、理事者にとっても市民意見の公聴活動を補完することにつながっていると考え。一層の充実へ様々検討しているが、提言後の検証をどのようにするかが重要な課題である。

ファシリテーター (牧瀬稔氏) の存在が大きいと思う。

(2) オンライン委員会の開催

基本的には本市が環境整備を進めてきた内容と同様かと思う。具体的な開催回数が多くあり、そこで明らかとなった課題は、本市として事前にならどこまで対応できるのか検討を進めておくことが重要と思う。(資料 17 ページ オンライン委員会の検証)

2 神奈川県川崎市議会

(1) 市議会大規模災害対応指針及び避難訓練

会議開催中の具体的対応についての内容、初動対応期—応急期—復旧・復興期というそれぞれの局面での対応についての内容は参考とすべきと考える。また、会議中の避難訓練は本市としても実施を検討すべきと思う。

(2) 議会施設の保安・警備について

警備員が議会フロア専門に配置されている。議員控室エリアへは議会事務局を経由するということがチェックはそれほど厳しくなさそうである。予想よりかなり自由かなという感想である。本市ではあまりにもオープンで、議会事務局でも議員控室に誰がいるのかリアルタイムで把握することが現状できない状態。やはり危機管理の観点から、議員フロアにおける状況把握ができる仕組みが必要と考える。

令和4年9月16日

松本市議会議長 芝 山 稔 様

議会運営委員 近 藤 晴 彦